令和8年度 大阪府立岸和田支援学校 第２回学校運営協議会報告

【日 時】 令和8年 11 月４日(水) 10:00～11:30

【場 所】 本校 1F 地域支援室

【出 席】 会長…小田浩伸氏　委員…津々木かおり氏、亀坂征児氏、清時綾氏、田中由紀氏

校長…松浪啓介　教頭…木曽幸葉、平岡洋介　事務長…青木昭之

首席・指導教諭…有山暁雄、井上鉄也、小浦亜由里、川並しのぶ 学部主事…葭川功、岡田香奈子

【欠 席】 副会長…神﨑俊之氏

【議事録】

□ 学校長挨拶

□ 年間テーマに基づく協議

「自己選択・自己決定」の支援の工夫について

各学部それぞれの実践や課題について協議した。小学部では、日常生活の中で繰り返し選択する経験を積み重ねることで、自己選択・自己決定の基礎を育てることを重視している。中学部では、個々の特性を踏まえながら選択の幅を広げ、高等部や将来の生活につながる力の育成をめざしている。高等部では進路選択や社会参加を見据え、自分の思いや希望を発信できる力や自己実現につながる支援を重視している。外部委員からは、選択肢は多過ぎず比較できる形で提示し、実物・写真・絵カードなどを活用することの重要性が示された。進路や将来の選択に向けて十分な経験を積み、本人の意思を尊重することの大切さが述べられた。協議では、支援者の誘導や大人の都合による選択にならないよう、環境設定や質問の仕方を工夫する必要性が共有された。まとめとして、自己選択・自己決定には豊かな経験と適切な選択肢の提示が不可欠であり、選んだ後の学びや成長を支える支援が重要であると確認された。

□ 協議事項

① 令和8年度学校経営計画および学校評価の進捗状況

⇒校長より令和８年度学校経営計画および学校評価の進捗状況について説明を行った。概ね計画通りに進めることができている。児童生徒の「物の見え方や見る力等」を把握するアセスメントについては、眼科校医の

協力のもとに進める方が学校に定着すると助言をいただいたため、眼科検診でアセスメント結果が活用できるように令和９年度からの実施に向けて、視能訓練士との打ち合わせや保護者への案内を行う。

② 令和8年度学校教育自己診断実施の中間報告

⇒首席より令和８年度の学校教育自己診断の集計結果について説明した。回収率は教職員 97.7%、保護者 46.9%、児童生徒 32.6%といずれも昨年度より高くなった。学校経営計画の評価指標項目の「学校は分掌再編を通して業務内容を見直し、精選を進めている」については、目標である 80%に 7%達しなかった。

③ 令和9年度の教科書採択の報告

⇒教頭より各学部の令和９年度使用の教科用図書について、選定一覧表をもとに説明した。

④ 岸和田支援防災フェスの報告

⇒首席より報告資料をもとに説明した。今年度は放課後等デイサービス利用の児童生徒も参加可能としたため、全校の約半数の 48 家庭の参加となった。自衛隊による講演、大阪府の備蓄非常食の試食、簡易トイレのサンプル配布、新たな非常食サンプル展示と配布、アルミシート体験等のブースも加え、さらに充実したものとなり、参加者の満足度についても高い結果が得られた。反省も踏まえながら今後も防災意識の向上や関係機関との連携をめざし、よりよい取り組みとなるよう進めていきたい。

④ 保護者からの意見の審議

⇒特になし

⑤ その他、学校運営全般について

⇒先日の学習発表会を参観した学生から、児童生徒一人ひとりが輝く発表会で、教員の支援する動きにも感動したという感想を聞いた。今後も続けていってほしい。

※ 各協議事項については承認された。

□ 事務連絡

第3回 令和９年２月３日（水）10:00～11:30

□ 閉会